

1. 婦人服において同じ材質であっても、服飾デザインのいかんによりセンスのあるものとそうでないものとの差が生じる。発展途上のわが国において、外国婦人を交えた場合は社交マナーも加えて一層新しいデザインが要求される。服飾デザインの構成基本は種々複雑であるが、色彩、材質、体型をもとにいかにしてハーモニー、リズム、バランス等を整えて行くかが重要である。今シーズン流行の幾何学模様構成のデザインをこれに基づいて考察してみた。

2. 当中国短期大学在校生40名に適用して、流行デザインの構成基本を探究し、その配列や分量をどのように構成すれば、創造的で美しい型になるかを研究し、その洋服の価値を再確認しようと試みた。

3. デザインの要素は、点、線、面、立体、空間、光、色、形、材質等多くの要素によりなりたっている。旧来の目に飽きたデザインでなく、面白くスペースを区切った直線的幾何模様が、いかに現代の要求にマッチした服飾デザインであるかを検討することができた。ことに黒、古代紫等の渋い色に洗練された味のあることを再発見した。